

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課： 道路局 高速国道課

担当課長名： 横田 耕治

事業名	北海道縦貫自動車道 しべつけんぶち なよる 土別剣淵～名寄		事業区分	高速自動車国道	事業主体	日本道路公団
起終点	自：北海道土別市南町 至：北海道名寄市豊栄			延長	2.4 km	
事業概要	北海道縦貫自動車道は北海道を南北に貫き、道北・道央地域、道南・道央地域の連絡の強化を図り、沿線地域の産業、経済、文化、観光等の発展及び振興に資する路線である。					
H - 年度事業化	H - 年度都市計画決定	H - 年度用地着手	H - 年度工事着手			
全体事業費（有料）	374億円	事業進捗率	1%	供用済延長	- km	
計画交通量	2,100台/日（有料）、5,000台/日（無料）					
費用便益分析結果（有料）	B / C (事業全体) 1.00 (残事業) 1.01	総費用 (残事業)/(事業全体) 267/270億円 〔事業費：213/216億円 維持管理費：54/54億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 269/269億円 〔走行時間短縮便益：238/238億円 走行費用減少便益：21/21億円 交通事故減少便益：10/10億円〕	基準年 平成15年度		
費用便益分析結果（無料）	B / C (事業全体) 2.32 (残事業) 2.34	総費用 (残事業)/(事業全体) 236/239億円 〔事業費：209/212億円 維持管理費：27/27億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 554/554億円 〔走行時間短縮便益：491/491億円 走行費用減少便益：42/42億円 交通事故減少便益：22/22億円〕	基準年 平成15年度		
事業の効果等（有料）	<ul style="list-style-type: none"> ・指標2（新幹線・空港等幹線交通網への利便性が高まる） ・指標3（高度な医療施設までの搬送時間が短縮される） ・指標4（拠点都市間を連絡し、相互の連携が可能になる） 					他8項目に該当
関係する地方公共団体等の意見	四国4県とほぼ同等の広さを有する広大な北海道において、札幌に次ぐ道内第2の人口を有する旭川市と、道北圏の中心都市のひとつである名寄市を結び、道央圏と道北圏の連携と交流を促進する上で必要である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	-					
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在、中心杭設置済。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	抜本的見直しを図る。					
施設の構造や工法の変更等	新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	高速道路の整備を抜本的見直しを行った上で、事業継続と判断する。					
事業概要図						

供用中はH15年度供用予定を含む。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

（バックデータ等についてはインターネットで公開）